



＊ ＊ 顕彰記録 ＊ ＊

《幸田町中学校春季体育大会》

【団体成績】

○ソフトボール部	優 勝
○ソフトテニス部男子	優 勝
○バレーボール部男子	優 勝
○バスケットボール部男子	優 勝
○バスケットボール部女子	優 勝
○卓球部男子	優 勝

【個人成績】

○ソフトテニス部男子	ペア 優 勝
	ペア 第2位
○剣道部男子(低学年)	第2位
○剣道部女子(低学年)	優 勝
○弓道部男子	第2位

《中日少年野球大会岡崎予選》

○野球部 第3位

《コンドースポーツ杯

岡崎市中学校

女子ソフトボール研修大会》

○ソフトボール部 第3位

《岡崎・幸田市民中学校

ソフトテニス選手権大会》

○ソフトテニス部男子	ペア 第2位
	ペア 第3位
○ソフトテニス部女子	ペア 第3位

《岡崎市中学校総合体育大会》

○弓道部男子 第2位

1年福祉実践教室

令和4年5月25日(水)

福祉実践教室を振り返って

1年

私は、福祉実践教室で、二つの講座を受講して、障害者の方の大変さや思いが伝わり、様々なことを学ぶことができたと思います。第一講座の手話では、実際に耳の聞こえない人が通訳の人と、手話についてお話をしてくださいました。最初に見た時は、どちらが耳の不自由な人か分からないくらい普通に準備をしてくださったので、ふだん会っても気付かないだろうなと思いました。第二講座の車イスでは、実際に乗ったり、押したりして体験しました。その中で、乗る方も押す方も大変な部分がありました。押す方は何も無い所で押すだけなら楽だけど、段差があると声をかけてあげないといけないし、段差で車イスを上げる時に、距離感がつかめず段差に勢いよくあたってしまうことがあったので、実際に押してあげる時には気を付けたいと思いました。私は今回の体験を通して、健康で普通に生きることができているからこそ、学んだことを生かして「幸せを運べる人」になりたいと思いました。



手話講座の様子



車イス体験講座の様子

水たまりだらけの運動場

教頭 望月 幸夫

本校の第1グラウンドは、かつては非常に水はけが悪く、多量の雨が一旦降ると、3日以上水たまりが残る状況で、本当に困っていました。私が幸田中学校へ教頭として赴任した平成29年のころは、雨が降るたびに大きな水たまりがたくさんできました。その水たまりは4~5メートル幅もある大きなものであって1日...2日...3日たってもなくなりませんでした。5日ぐらい経ったところに水たまりをよく観察すると、なんと驚いたことに、アメンボが湧いていました。運動場改修については、平成31年度(令和元年度)予算要望にも盛り込みましたが、非常に高く費用がかかることもあり、実現しませんでした。マラソン大会の前日に雨が降り(前日の朝止む)、いつも通り水たまりができたため、運動場に浅く溝を掘り、溜まった水を側溝に導いて大部分をぬきました。マラソン大会当日は、走行するトラックの一部がゆるくて使えませんが、なんとか行事はできました。雨が降るたびに運動場に溜まった水を履き出そうとトンボで整備を1時間以上も続ける野球部員を見るにつけ、これはなんとかしないと...と思いました。



水たまりができた第1グラウンド

校長先生と相談し、野球部の「親父の会」の代表の方に話したところ、快く協力を得られることになりました。



ユンボも登場 生徒の力も借りて

私設の暗渠(あんきょ)について、私も研究し、ホームセンターへ行って暗渠パイプと透水シート、建材屋さんから砕石を購入しました。穴を掘るためのユンボを借りようと思いましたが、親父の会の方が用意し運転までしてくださいました。側溝のU字溝コンクリートに穴を開ける安価な振動ドリルも準備しましたが、プロの方がみえて無償で穴開け、コンクリートで隙間埋め作業までしていただきました。学校の運動場に、生徒、保護者、先生が一同に集まり、力を合わせて問題を解決する姿に感動を覚えました。

おかげさまで、第1グラウンドの水はけは格段によくなり、水たまりは半日ほどではけるようになりました。もう、野球部員がトンボで長時間運動場整備する姿を見ることはなくなりました。当時作業していた生徒たちは卒業し、かかわった親父の会の方々はいませんが、心から感謝したいと思います。また、その事実をこのグラウンドを使う生徒たちにも知ってほしいと思います。

第1グラウンドの下には、今もたくさんの暗渠パイプが埋まっています。

キャリアスクールプロジェクト ～職業講話 (株)デンソー～

令和4年6月8日(水)

2年生のキャリアスクールプロジェクト、その始まりに地元の企業であるデンソー幸田製作所から講師をお招きし、「働くこと」について話を聞きました。生徒それぞれの「働くこと」への意味や価値観が広がりました。これから1年間学習を深めていきます。

「講演会を通して」

2年

今回、デンソーの三木さんから、たくさんの経験を生かしたお話を聞くことができました。企業が求める人材として、「高い自主性、自己管理能力、コミュニケーション力」が必要であると言われました。僕はその中でも、コミュニケーション力が特に大切で、これから僕自身も伸ばしていきたいと思いました。大人になって仕事をするようになると、知らない人ばかりと関わり、一緒に仕事をしていくことになります。僕も将来、人と多く関わる仕事がしたいので、今のうちにいろいろな人とコミュニケーションをとって力を付けていきたいと思いました。

また、「仕事に目的意識をもつ」という言葉が印象に残っています。やりたい仕事ではないときに嫌だと思ふより何か目標をもってやることで、やりがいを感じたり、できることを考えたりすることで仕事が面白くなるのが分かりました。自分にも取り入れ、自分の幅を広げていきたいです。

社会人の方々は、緊張感のある中で仕事をしていることを知りました。今の僕たちは支援を受け、少しのミスなどは許されます。だからこそ、いろいろな挑戦や経験をして将来に生かしたいです。



防災学習 普通救命講習会

令和4年6月から7月まで

2年生では、防災学習の一環として、「普通救命講習会」を開き、学年全員が順次講習を受けて、心肺蘇生の方法やAEDの使い方など学びます。

消防署の方を講師に招き3時間の講習を受け修了証をいただきます。

「自分から動ける人へ」

2年

今回、普通救命講習会を通して、胸骨圧迫の方法やAEDの使い方を学びました。そこで実感したことは、やっぱり人の協力の重要性です。協力してくれる人が複数いるからこそ助かる命はたくさんあると思うし、自分自身も今回の講習会で学んだからこそ、救命のために全力を振りしぼることのできる人間でいたいと思いました。万が一の状況になったら、自分から動けるようにしたいです。

修学旅行

5月18日(水)～20日(金) 東京・千葉

「修学旅行で学んだこと」

3年

今回の修学旅行では、人の優しさや温かみを改めて知ることができました。民宿、バス、ディズニー、浅草など、どこへ行っても、その場その場の方々はとても温かみがありました。特に、浅草での出来事が思い出深いです。店員さんは、荷物が多くて財布が出しづらい時に、荷物を持って下さいました。この経験から、優しさは、ちょっとした行動で伝わるのだと思いました。私も、小さなことから気を付けて、気遣いのできる人になりたいと感じました。



「いろいろな人との出会い」

3年

三日間の修学旅行は、いろいろな人との出会いがありました。一番思い出に残っていることは、民宿の方が、ご飯を食べることができなくなったときに、「ごめんなさい」と言ったら、「たくさん食べてくれてありがとう」と返ってくださったことです。その言葉に温かさを感じました。二日目のTDLでは、キャストが一人一人に目を合わせて話して下さったこと。そして、三日間一緒に行動して下さったバスガイドさんは、ずっと明るく話して下さったことなど、見習うべき姿をたくさん見ることができました。

簡単ことばかりではないけれど、意識して生活してみたいです。



「学び多き修学旅行」

3年

修学旅行を通して、学んだことが沢山あります。

一つ目は、修学旅行で実行委員になったことです。私は、人前で話すことが苦手だったけれど、今までレクの実行委員などの積み重ねで、やっと慣れてきました。修学旅行では、人前で話す機会が多かったのですが、最終日には、すっかり緊張感がなくなりました。実行委員になってよかったです。

二つ目は、防災訓練での体験です。防災訓練では、東日本大震災のビデオを観ました。先輩方の資料などから釜石東中の生徒が日頃の避難訓練のおかげで命を守ることができたなど、多少のことは知っていましたが、また更に深く知ることができました。日頃から防災に備える大切さについて、身をもって知ることができました。

修学旅行での学びを、日々大切にして過ごしていきたいです。

